



アドビシステムズ社が 企業内の文書プロセスを自動化する 新たなサーバ製品およびソリューションを発表

文書プロセスを基幹システムや EPP 等のコア ビジネス アプリケーションと
統合するための革新的なネットワーク パブリッシング ソリューション

【2002 年 10 月 22 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2002 年 10 月 21 日）（NASDAQ:ADBE）：Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビ システムズ社）は本日、業務上必要不可欠な、文書に依存したプロセスを自動化するために開発されたサーバ製品ならびにソリューションの新ラインアップを発表しました。基幹システム等のコア ビジネス アプリケーションと、書類、契約書、報告書、請求書といった旧来の文書との間隙を埋めることを狙いとした新たなアドビのネットワーク パブリッシング ソリューションは、企業全体にわたる文書生成、コラボレーションおよびプロセス管理を改善することを目的とした製品です。

アドビ システムズ社 社長 兼 CEO であるブルース チゼンは、「大規模な組織は、バックエンドのコア ビジネス アプリケーションの自動化に対して重点的に投資していますが、情報を提出したり、情報に基づいて行動する上では、いまだに文書があたかも通貨のようにコミュニケーションのベースとなっています。文書の処理（プロセス）がいまだに多くの場合手作業で行われ、バックエンドシステムと分断されている状態であるがゆえに、企業はまだ原因の診断もされていない効率の悪さに悩まされています。アドビの戦略は、これらの課題を過去のものとするために、Adobe® Acrobat® の販売強化や Adobe PDF をはじめとする文書に関するテクノロジーにおける当社の専門知識を有効活用することにあります」と、述べています。

米国の調査会社 META Group の執行副社長 兼 エレクトロニック ビジネス ストラテジー担当ディレクターであるデヴィッド ヨケルソン（David Yockelson）氏は、「企業や組織は、高度に構造化されたデータと構造化されていない紙ベースの情報とを統合することができないビジネス プロセスの限界を急速に認知しはじめています。特に、信頼のおけるかたちでセキュリティが保たれ、共有、閲覧、印刷できなければならない文書に依存している官公庁や規制事項の多い業界では、コア ビジネス アプリケーションの導入にあたって、文書を系統立てて自動化できるソリューションを求めています」と、述べています。

アドビのネットワーク パブリッシング ソリューションは、官公庁や、金融業界、製造業界といった規制事項の多い業界でよく見られる、重度に文書依存したプロセスに対処するために開発されました。このソリューションを構成する製品、プロフェッショナル サービスおよびサポートは、コア ビジネス アプリケーションと、組織内での文書の流れを統合します。プロセスの最初の情報入力から、最終のカスタマイズされたアウトプットの配布を、誰にでも、いつでも、どんな端末にも可能とします。

本日発表となった新製品のひとつは、企業のコア ビジネス アプリケーションの拡張を文書生成機能によって支援する「Adobe Document Server（アドビ ドキュメント サーバ）」です。このソフトウェアは、カスタマイズされた Adobe PDF ファイルを、1 部でも大量

部数でも、XML コンテンツを含む多種多様なデータ ソースから、エンタープライズ向けのセキュアなサーバ環境内で、ダイナミックに組み上げることが可能です。例えば、組織は、Adobe Document Server ソフトウェアを組み込んで従来の紙ベースのプロセスを自動化することによって、ERP や CRM システムを拡張することができます。これにより、処理にかかるコストを低減し、個別の文書を瞬時に生成することが可能です。例えば、顧客の投資ポートフォリオに関する個人向けの報告書を、自動的に適切なデータやグラフィックスを取り込んで作成できます。

同じく本日発表の Adobe Document Server for Reader Extensions (アドビドキュメントサーバフォーリーダーエクステンションズ) は、新たなレベルの電子フォームソリューションを提供します。Adobe Document Server for Reader Extensions は、世界中ですでに約 4 億 9 千万本がダウンロードされている Acrobat Reader® を用いて、企業や官公庁が、顧客やパートナーや市民と直接やりとりするための共通の方法を提供します。各個人が、新たに発表された Adobe Acrobat Reader 5.1 (アドビアクロバットリーダー 5.1) を使って電子フォームに記入、保存、提出といった操作をオンラインで行えるようにすることで、組織が情報を安全に入手することを可能とします。Acrobat Reader は、世界で最も普及しているソフトウェアのひとつであり、Adobe PDF は、Web 上で最も広く使用されている文書形式の 1 つです。

これらのサーバ製品は、アドビの既存のサーバソリューションである Adobe Form Server (旧称: Adobe Accelio Capture ReachForm)、Adobe Workflow Server(旧称: Adobe Accelio Integrate InTempo)、Adobe Central Pro Output Server(旧称: Adobe Accelio Present Central Pro) のラインアップに新たに追加されます。

※日本においては、旧称にて販売を継続します。製品名変更の際は、別途お知らせ致します。

本日発表された新たなアドビのネットワークパブリッシングソリューションは、コアビジネスアプリケーションへの文書ベースプロセスの統合から、エンドユーザによる電子文書の操作と提出にいたる、すべてをオンライン上で可能とした、文書のライフサイクル全体に取り組むものです。本日の発表は、企業顧客のニーズに応じていくというアドビのイニシアチブにおける新たな里程標となります。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、法人ユーザおよびクリエイター向けに様々なソフトウェアを提供し、ネットワークパブリッシングを推進してきました。それらの製品は、豊かな視覚効果にあふれ、魅力的で、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社です。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。